

令和5年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会 議事録

○ 日 時 令和5年10月10日（火） 午前9時から午前11時25分まで

○ 場 所 太田市役所10階 政策推進会議室

○ 審査事項

- (1) 太田市木崎放課後児童クラブ《公募》
- (2) 太田市北の杜学園放課後児童クラブおよび
太田市北の杜学園第2放課後児童クラブ《公募》
- (3) 太田市養護老人ホーム《非公募》

○ 出席者

委員長 木村 正一

委員 竹沢 悦男、木村 早苗、茂木 真和、亀井 貴文、高橋 亮、瀬古 茂雄

事務局 前原事務局長、齋藤次長、長谷川課長補佐、深須係長代理、石川主任
所管課

- (1) 福祉こども部児童施設課
坂本参事、洪澤課長補佐、境野係長代理
- (2) (1)に同じ
- (3) 福祉こども部長寿あんしん課
富澤参事、阿部課長補佐、石原主事

公募の申請者

- (1) 太田市木崎放課後児童クラブ
・社会福祉法人 木崎育援会
- (2) 太田市北の杜学園放課後児童クラブおよび
太田市北の杜学園第2放課後児童クラブ
・北の杜
- (3) 太田市養護老人ホーム
・社会福祉法人 同仁会

1 開会（前原事務局長）

それでは、令和5年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会を開会させていただきます。本日は、大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。本年度、事務局長を務めさせていただきます総務部副部長の前原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

2 挨拶（木村委員長）

委員長を務めさせていただきます、木村でございます。委員の皆様におかれましては、今回の審査に関し、市が目指す公の施設毎の指定管理の進め方や、実情についてご理解賜っているのと同時に、事前に配付してある資料に目を通し、今日の審査会に臨んで頂きありがとうございます。

市の運営方針としては、民間でできるところは民間で行っていただくということもありますので、民間活力の活用による市民サービスの向上につながっていければと思います。本日は、よろしくお願い致します。

3 自己紹介

4 本日の審査委員会について（齋藤次長）

5 審査事項（議長：木村委員長）

(1) 太田市木崎育援会（公募施設）

《福祉こども部児童施設課による説明》

【質疑】

- Q 1：保護者への評価アンケートを毎年実施しているようだが、内容につき把握しているか。
A 1：指導員に関すること、行事に関すること、施設への安全管理についての3点について実施している。結果についても報告を受けて把握している。
- Q 2：前回の更新からアンケート結果について変わりはあったか。
A 2：ケガの報告、苦情といったものはあるものの、おおむね回答は良好である。
- Q 3：担当課としてイベントに参加したことはあるか。
A 3：見回りに行くことはあるが参加したことはない。
- Q 4：監査している実態を確認しているのか。また、個人情報の専門家で確認しているか。
A 4：3年に1度監査を担当課でもしている。しかしあくまで職員レベルでの確認である。
- Q 5：受入人数の推移についてはどうか。
A 5：H31：39人、R2：42人、R3：51人、R4：49人、R5：54人となっている。順調に推移している。
- Q 6：施設の概要調書では常勤3人、管理運営体制に関する事項では常勤2人となっている。何が違うのか。
A 6：令和4年時点では3人だったが、令和5年では2名で行っている。報告時期の違いである。

Q 7 : 問題が起きて質問や相談が保護者や管理者から来たことはあるか。

A 7 : 入りたいけど定員の関係で入れないといった入所希望の相談や、施設が狭いという相談がきたことがあった。

《社会福祉法人 木崎育援会による説明》

【質疑】

Q 1 : 児童クラブにおける男女比率はどうか。

A 1 : 低学年と高学年で差はあるが、全体で見ると1:1である。

Q 2 : 実施計画書の中で「弾力的な運用」とあるがどういったことか。

A 2 : 保護者の迎えが遅れそうな時があれば融通を利かせる等、寄り添う姿勢を見せている。

Q 3 : 学校でのことをサポートするのは難しいと思うが、具体的にどんなことをしているのか。

A 3 : 長期休みでは感想文、習字、英語といったことにつきサポートしている。普段 50 分学習時間があるがそこでも指導している。

Q 4 : 先進的な取組（塾機能、ピアノ機能）をしているように思えるが、更に目指す取組はあるか。

A 4 : 保護者ニーズが一番大切。やってみたいと要望があれば無理と決めつけずに調べて、対応出来そうなことは対応している。「地域の子供は地域で育てる」との理念でやると興味を持ってもらえるようになる。様々な行事を開催しており、若者に参加してもらうきっかけを作ることで更にこの理念を実現していきたいと思う。

Q 5 : 学童に来る子どもストレスを抱えてくる。いじめが横行するのではないか。対応マニュアルのような資料は沢山あると思うが、現場でいじめについてどう対応しているのか。

A 5 : 見守るのが基本であり、多少の諍いには介入しない。しかし、手を出したり暴言があればその場で対応し、帰るまでにこういうことがあったと共有をしている。保護者対応が今後は中心になってくると思うが、現場では元教員が居るのでうまく対応してもらっている。

Q 6 : 地域への訪問は行っているか。どういうことを聞いてくるのか。

A 6 : 農園をやっているので収穫物を届けながら行っている。園へのご意見がないか聞き取りしている。

Q 7 : 先生の質の確保はできているか。

A 7 : 処遇改善が謳われるようになり、先生方への金銭面での配慮も出来るようになってきている。

Q 8 : 入れない人はどれくらいいるのか。

Q 8 : 例年 7~8 人だったが、今年はずっと増えるかもしれない。施設の拡充を要望したい、もっと施設が機能出来るようになればと思う。

Q 9 : 決算書を見ると減価償却が入るとマイナスが増えると思う。貯えについてはどうか。

Q 9 : 社会福祉法人なので貯えは多くない。

【意見】

- ・行事に参加することで見えてくること、感じるものがきっとあるはずである。担当課として是非とも参加してもらいたい。
- ・先進的な取組をこれからも推進し、安全な施設運営を行っていただきたい。

【審査】

- ・ 社会福祉法人 木崎育援会 600点満点中515点
- ・ 基準点（合計得点300点）以上の得点
- ・ 挙手全員により、社会福祉法人 木崎育援会を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

- (2) 太田市北の杜学園放課後児童クラブおよび
太田市北の杜学園第2放課後児童クラブ（公募施設）
《福祉こども部児童施設課による説明》

【質疑】

Q1：新規での参入。担当課で不安は感じているか。

A1：指定管理者として実績はないが、子供の扱いについては心配していない。会計事務所にも入ってもらえるので運営も大丈夫だと思っている。

Q2：完全な新規参入であるのか。

A2：市の直営で今まではやっていた。母体はそのまま指定管理への参入である。

Q3：保護者から心配も出ている気がするが説明はできているか。

A3：市の方で受付・説明をしている。スタッフも変更がなく特に問題も出ていない。

《北の杜による説明》

【質疑】

Q1：様々なところでの指導経験者が集まって始動した。こういった理念で行っているか。

A1：〇〇小はああだった、△△小はこうだったという意見が出て、一時的に収集がつかなくなったことはあった。既成概念を壊すことは大変だったが、メンバーと協力して乗り越え、やっていく自信がついた。その自信を糧に立ち上げに至った。

Q2：モンテッソーリ教育の効果はどうか。

A2：コロナ禍で在宅勤務も増え、親と子が過ごす時間も増えた。しかし、子供の充足感を見ると満たされていないように感じた。鉛筆の持ち方が変で、数字も一筆書きで書いてしまう子が多かった経緯もあり、モンテッソーリ教育の導入を検討した。本来家庭の中で学ぶべきことが出来なくなってしまっているのが、学童での支援をしていきたい。

Q3：子供を預かるといったことより突っ込んだ教育が出来ているように思う。一番気を付けていることは何か。

A3：コミュニケーション能力が低く、先生を独占したい子が多い。モンテッソーリ教育の理念で上の子から下の子へ教えられるような体制を築いている。ケンカが起きてもお互いの言い分もあるのでなるべく見守るようにしており、それでもダメな時は支えられるようにしている。自己肯定感が低い子が多いので、コミュニケーション面を高められるようにしていきたい。

Q4：実施計画に関する事項の中でNPO法人化を目指すとある。これまで経験はあるか。既存のNPO法人を参考にしつつ、事業型のNPO法人を目指し、人材を確保してもらいたい。

A 4 : 経験はない。そうしたものを目指せるように頑張りたい。

Q 5 : 利用料が 5,000 円から 8,000 円へ増額されている。保護者への説明は大丈夫か。

A 5 : そもそも 8,000 円だったが、コロナ禍でオヤツが無くなり 5,000 円に減額していた。手作りオヤツも提供し、元に戻すこととした。高くなったからプラッツに切り替えようという人もいるかもしれないが、そこは保護者の判断に委ねることとする。

Q 6 : 長期休暇はお弁当を提供しているか。

A 6 : お弁当を持参してもらっている。

Q 7 : 法人化にあたり不安なことはあるか。

A 7 : 知らないことも多く不安だらけだ。会計事務等も自分達でやらなければならない。集中したい気持ちもあるが、子供達のことを疎かにならないようにやっていきたい。

【意見】

- ・コミュニケーション面に配慮した教育を推進し、学童での支援をこれからも手厚くしていただきたい。
- ・経験がない部分については専門家にも入ってもらい、子供のことが疎かにならないようにしてもらいたい。

【審査】

- ・北の杜 600点満点中450点
- ・基準点（合計得点300点）以上の得点
- ・挙手全員により、北の杜を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

(3) 太田市養護老人ホーム（非公募施設）

《福祉こども部長寿あんしん課による説明》

【質疑】

Q 1 : 施設も 20 年経過している。改修はしているか

A 1 : エアコンの改修を昨年行った。大きな傷みも見られないのでしばらく他の改修については考えていない。

Q 2 : 委託料に措置費は含まれているのか。

A 2 : 含まれている。9,000 万円程度を見込んでいる。

Q 3 : 定員数、凡その平均年齢はどうか。

A 3 : 43 人で平均 80 歳程度である。

Q 4 : 市外の居住者はいるか。

A 4 : 現在はいない。市外から措置されてくる場合もある。

Q 5 : 同仁会ならでの良い点はどこか。

A 5 : 人が出たり入ったり大変だと思うが、丁寧な対応をしてくれているように思う。

Q 6 : 令和 6 年度に公募をかけることを同仁会は承知しているか。

A 6 : 話はさせてもらっている。

Q 7 : コロナのクラスターは出たか。他の施設で出ているところもあった。何か対策をしていたか。

A 7 : 職員単発で罹患はあったが、クラスターはなかった。外部の人を極力入れないように努

めているようであった。

Q 8 : イメージとして、民営化によりサービスの質が低下するよう感じる方もいると思う。どう考えるか。

A 8 : そうした問題は起きないとしっかり説明していくことが必要だと思う。

Q 9 : 民営化後の支出はどうなりそうか。

A 9 : 3,000万円程度は浮くと思う。

Q 10 : 常勤数に栄養士、管理士も含まれていると思う。人事確保は大変だと思うが、大変な時はあったか。

A 10 : 行き詰った時はあったが、資格者を確保出来ている。

Q 11 : 入所の条件は。また負担はあるのか。

A 11 : 1人で暮らせない、身の回りのことが出来ない人。年金等の収入に応じて負担が発生することはある。

【意見】

- ・ 1年間の指定管理の延長後、施設の民営化が予定されているが、最後まで気を抜かず施設の管理運営を行っていただきたい。
- ・ これまで蓄積されたノウハウを活かし、利用者の意見・要望をくみ取りながら、サービス向上に努めていただきたい。

【審査】

- ・ 挙手全員により、社会福祉法人 同仁会を指定管理者候補者に選定することを適当と認める。

6 その他

- ・ 事務局が作成した審査報告書について委員長が確認を行い、委員長から市長に報告する。
- ・ 市長へ報告後、報告書の写しを委員へ送付する。

7 閉会（前原事務局長）

以上をもちまして、令和5年度第1回太田市指定管理者候補者審査委員会を閉会いたします。ありがとうございました。